



令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



令和4年7月25日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111
 四半期報告書提出予定日 令和4年8月5日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績 (令和4年4月1日～令和4年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和5年3月期第1四半期	18,653	△9.1	11,657	19.9	9,086	△50.6	6,750	△49.6
令和4年3月期第1四半期	20,520	80.6	9,718	121.5	18,408	105.5	13,381	101.9

(注) 包括利益 令和5年3月期第1四半期 △185百万円 (-%) 令和4年3月期第1四半期 12,361百万円 (△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和5年3月期第1四半期	42.87	39.72
令和4年3月期第1四半期	80.55	80.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和5年3月期第1四半期	203,103	121,122	59.4	766.20
令和4年3月期	219,803	138,101	62.6	874.33

(参考) 自己資本 令和5年3月期第1四半期 120,664百万円 令和4年3月期 137,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和4年3月期	-	0.00	-	108.00	108.00
令和5年3月期	-	-	-	-	-
令和5年3月期 (予想)	-	0.00	-	48.00	48.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、令和4年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。令和5年3月期 (予想) の1株当たり配当予測につきましては、分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の年間配当金は1株当たり96円00銭であります。

3. 令和5年3月期の連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	32,000	△14.0	13,000	△20.8	17,000	△32.2	12,000	△33.9	36.41
通期	77,000	5.8	32,500	△5.9	42,500	△12.7	31,500	△10.9	95.57

（注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 当社は、令和4年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。上記の1株当たり当期純利益は分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期（累計）は72円82銭、通期は191円14銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

令和5年3月期1Q	168,048,462株	令和4年3月期	168,048,462株
令和5年3月期1Q	10,563,689株	令和4年3月期	10,566,507株
令和5年3月期1Q	157,482,819株	令和4年3月期1Q	166,116,389株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、令和4年7月25日（月）にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、持ち直しの動きが見られるものの、ウクライナ情勢や物価上昇の影響により、依然として先行きは不透明な状況です。

当期より新たな中期経営計画を策定し、2025年3月期に売上高1,000億円、営業利益400億円、経常利益500億円を計画しています。その重点目標として、パッケージゲームでは複数の500万本級タイトル実現と毎期200万本級タイトルの発売、スマートフォンゲームでは月商20億円タイトルへのチャレンジと複数の月商10億円タイトルの創出を目指します。

中期経営計画の初年度となる当期は、グループ経営方針として「グローバルIPの創造と展開」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。

当第1四半期は、パッケージゲームでは、大型のコラボレーションタイトルをはじめ合計3タイトルを発売しました。スマートフォンゲームでは、運営中の自社開発タイトル、IP許諾タイトルが安定して推移しました。また、協業先による開発費負担を一部計上した結果、営業利益率は向上しました。営業外収支においては、厳しい金融環境に対応するためポートフォリオの組み換えを行い、営業外費用を計上しました。

これらの結果、売上高186億53百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業利益116億57百万円（同19.9%増）、経常利益90億86百万円（同50.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益67億50百万円（同49.6%減）となり、四半期の営業利益として過去最高を更新しました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 178億5百万円 セグメント利益 114億91百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、4月に『Winning Post 9 2022』（PS4、Nintendo Switch、Windows(Steam)用）を発売し、9万本の販売となりました。5月には『太閤立志伝V DX』（Nintendo Switch、Windows(Steam)用）を国内・アジアで発売し、販売本数は16万本でした。6月には、新作スマートフォンゲーム『信長の野望 覇道』を発表し、クローズドβテストを実施しました。

「ω-Force」ブランドでは、任天堂株式会社の『ファイアーエムブレム 風花雪月』の世界を継承した『ファイアーエムブレム無双 風花雪月』^(※)（Nintendo Switch用）を6月に発売しました。

「Team NINJA」ブランドでは、新作タイトル『Wo Long: Fallen Dynasty』（PS5、PS4、Xbox Series X|S、Xbox One、Xbox Game Pass、Windows(Steam、Microsoftストア)用）を2023年初頭に発売予定であることを6月に発表しました。

「ガスト」ブランドでは、「ライザのアトリエ」シリーズのリピーター販売が好調でした。

「ルビーパーティー」ブランドでは、国内で配信中の『金色のコルダ スターライトオーケストラ』において季節イベントやキャンペーンを実施しました。

「midas」ブランドでは、新規スマートフォンゲームの開発に注力しております。

IP事業においては、国内及びアジア各地域で配信中の『三国志・戦略版』

（国内では『三国志 真戦』）が、引き続き収益に貢献しました。6月には『新信長の野望』が国内で配信開始されました。オフィシャルショップ「KOEI TECMO SPOT」では、当社タイトルのグッズを幅広く展開し、人気を博しました。

(※) 『ファイアーエムブレム無双 風花雪月』の海外における発売元は任天堂株式会社です。

アミューズメント事業 売上高 6億45百万円 セグメント利益 80百万円

アミューズメント施設は、プライズゲーム機の稼働が好調で、既存店売上が伸長しました。スロット・パチンコでは、開発を受託した1タイトルが稼働を開始しました。

不動産事業 売上高 2億87百万円 セグメント利益 80百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、有観客イベントで高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 76百万円 セグメント利益 5百万円

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して166億99百万円減少し2,031億3百万円となりました。これは主に、投資有価証券が40億70百万円、繰延税金資産が28億2百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が132億62百万円、現金及び預金が105億21百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して2億79百万円増加し819億81百万円となりました。これは主に、短期借入金が220億円増加した一方で、未払金が75億96百万円、その他流動負債に含まれる預り金が74億71百万円、未払法人税等が54億4百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して169億79百万円減少し1,211億22百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が8億68百万円増加した一方で、利益剰余金が100億91百万円、その他有価証券評価差額金が77億98百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年4月25日に公表した令和5年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,235	9,713
売掛金及び契約資産	13,072	12,845
有価証券	25,185	11,923
商品及び製品	38	68
仕掛品	112	155
原材料及び貯蔵品	77	85
その他	13,365	13,718
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	72,075	48,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,270	22,064
土地	14,093	14,019
建設仮勘定	82	22
その他(純額)	1,399	1,552
有形固定資産合計	37,846	37,658
無形固定資産		
その他	275	262
無形固定資産合計	275	262
投資その他の資産		
投資有価証券	102,940	107,011
繰延税金資産	881	3,683
退職給付に係る資産	1,824	1,961
その他	4,749	4,910
貸倒引当金	△790	△883
投資その他の資産合計	109,605	116,684
固定資産合計	147,727	154,604
資産合計	219,803	203,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	520	877
短期借入金	-	22,000
未払金	9,646	2,050
未払法人税等	6,470	1,066
賞与引当金	1,928	973
役員賞与引当金	389	102
その他	13,660	5,925
流動負債合計	32,616	32,995
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	48,146	47,945
繰延税金負債	156	222
その他	782	818
固定負債合計	49,085	48,985
負債合計	81,701	81,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	28,006	27,998
利益剰余金	130,954	120,863
自己株式	△39,393	△39,383
株主資本合計	134,567	124,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,548	△4,250
土地再評価差額金	△3,115	△3,115
為替換算調整勘定	2,418	3,287
退職給付に係る調整累計額	271	264
その他の包括利益累計額合計	3,122	△3,813
新株予約権	411	457
純資産合計	138,101	121,122
負債純資産合計	219,803	203,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	20,520	18,653
売上原価	7,106	3,368
売上総利益	13,414	15,284
販売費及び一般管理費	3,695	3,626
営業利益	9,718	11,657
営業外収益		
受取利息	1,571	3,073
受取配当金	320	295
投資有価証券売却益	6,319	457
デリバティブ評価益	1,418	1,857
為替差益	-	838
その他	304	448
営業外収益合計	9,935	6,970
営業外費用		
投資有価証券評価損	-	152
投資有価証券売却損	227	1,351
有価証券償還損	-	2,336
デリバティブ評価損	873	5,675
為替差損	132	-
その他	12	25
営業外費用合計	1,245	9,541
経常利益	18,408	9,086
税金等調整前四半期純利益	18,408	9,086
法人税、住民税及び事業税	4,310	1,623
法人税等調整額	717	712
法人税等合計	5,027	2,335
四半期純利益	13,381	6,750
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,381	6,750

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
四半期純利益	13,381	6,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,113	△7,798
為替換算調整勘定	101	868
退職給付に係る調整額	△7	△6
その他の包括利益合計	△1,019	△6,936
四半期包括利益	12,361	△185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,361	△185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,645	622	237	20,505	14	20,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	3	1	7	73	80
計	19,648	625	238	20,512	88	20,600
セグメント利益	9,638	49	23	9,711	7	9,718

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,711
「その他」の区分の利益	7
四半期連結損益計算書の営業利益	9,718

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,718	645	287	18,652	1	18,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	86	0	-	87	75	162
計	17,805	645	287	18,739	76	18,815
セグメント利益	11,491	80	80	11,651	5	11,657

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。
2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,651
「その他」の区分の利益	5
四半期連結損益計算書の営業利益	11,657

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。